

令和3年度 第1回匝瑳市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和3年11月26日(金)
開会 午前9時55分 閉会 午前10時50分
- 2 場 所 市民ふれあいセンター1階 第1会議室
- 3 出席者 匝瑳市長 太田 安規
匝瑳市教育委員会
教育長 二村 好美
教育長職務代理者 平山 孝雄
教育委員 大木 睦子
教育委員 小作 広子
教育委員 及川 順央
- 八日市場小学校 越川 貴弘教諭
- 事務局
学校教育課長 矢澤 敏和
学校教育課指導班統括 眞田 忠之
指導主事 櫻庭 俊浩
学務班統括 高橋 政雄
総務班統括 宇井 信一

4 議 題

(1) リモート学習の現状と課題について

5 会議概要

進 行

本日、進行を務めます、学校教育課長の矢澤です。

よろしく申し上げます。

ただいまから「令和3年度 第1回匝瑳市総合教育会議」を開会します。

ここで、本日の出席者をご紹介します。

～ 出席者の紹介 ～

続きまして、太田市長よりご挨拶をいただきます。

太田市長

皆さん、こんにちは。

本日は、お忙しい中、「令和3年度 第1回匝瑳市総合教育会議」にご出席いただき、

誠にありがとうございます。

この総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、相互に連携して教育行政を推進していくために設置されたもので、設置されてから本年度で7年目を迎えました。

この会議では、これまでに「道徳教育」や「教職員の働き方改革の推進」などをテーマとして話し合ってきたほか、昨年度は「学校におけるプログラミング教育」、「民法改正に伴う令和4年度以降の成人式の在り方について」をご検討いただきました。

さて今回は、「リモート学習の現状と課題」について、事務局からの説明を受けた後にご協議いただき、委員の皆様から忌憚のないご意見等を賜りながら、今後の市政や教育行政に反映してまいりたいと思います。

限られた時間ではありますが、本日の会議が実り多い会議となりますよう祈念いたしまして、開会にあたっての挨拶といたします。

進 行

続きまして、匝瑳市総合教育会議運営要領第3条第3項に基づきまして、議事録署名人を選出したいと思いますが、いかがでしょうか。

構成員3

二村教育長にお願いしたいと思います。

～ （構成員から「異議なし」の発言） ～

進 行

それでは、二村教育長に議事録署名人をお願いします。

つづきまして、これより協議に入ります。

議長につきましては、匝瑳市総合教育会議運営要領第2条の規定により、太田市長にお願いします。

議 長

議題に入る前に、各学校におけるICT環境が整備され、国のGIGAスクール構想を受けての本市の進捗状況について、学校教育課長より説明願います。

事務局

それでは、本市の進捗状況についてご説明いたします。

昨年度末に配備されました一人1台端末につきまして、本年度の夏休み前から学校の実態に応じて授業等の本格的な活用がされました。教育委員の皆様におかれましては、過日実施された八日市場第二中学校の学校訪問でもご覧いただいたかと思いますが、中学校ではどの学年でも授業に活用されており、小学校においても三年生以上は確実に授業で、また小学校低学年でも学校においては活用されております。活用の仕方につきましては、ドリル的に使用したり、調べ学習に使用したり、この後の映像でもご覧いただけたと思いますが、友達との意見共有に使用したりと、タブレットの有効性を活かした

ものとなっております。

先月には、学校教育課で「タブレットの持ち帰りの手引き」を作成しまして、各学校に配付し、持ち帰りについて各学校での準備や、実際に持ち帰って使用しております。

議 長

議題（１）「リモート学習の現状と課題」について、事務局から説明がありました。早速、端末を利用した様子をご覧いただき、協議についてはその後いたします。それでは、事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、資料１に基づきまして、ご説明いたします。

～ 実際のオンライン映像と資料を併用して、事務局より概要説明 ～

議 長

「リモート学習の現状と課題」について、事務局の説明が終わりました。

説明のありました項目について、皆様からご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

構成員 2

リモート学習と聞いたときに、もっぱら学校から離れた学習といった意識で臨んだ面と、GIGAスクール構想ということからタブレット端末を授業の中でどう活用するかという面、その二面を見せていただいたのですが、そのリモート学習と、タブレット端末を使用する面をどうあるべきかと考えました。

私の感じたことは、１つはタブレット端末での画面共有ができることです。普段、口頭で授業をしていること、２つめは文字入力が即時で反映できることが、教師としてはなかなか把握できない。それが、このタブレット端末を使用することで児童生徒の今の状況を判断できる。また、スポットライトを活用することで、通常では指名して発言させるという形ではありますが、それはタブレット上で可能であるという非常に有効な手段だと感心いたしました。

反面、課題もあるようで、思考が止まっている子供、なかなか意見がまとまらない子供への対応はどうすべきかと言うようなことですが、これはタブレット端末を使っては解決できないと思います。従って、通常通りの授業ではできたかも知れませんが、リモート学習では難しいのではないかと思います。普段の授業の中での声掛けを、このタブレット端末からできないのかを今後、模索していただきたい。なおかつ、授業のペースが遅れている子供が、今どういう状況でいるのか、同じスタンスでは授業ができないと思うので、そういう子への励ましや、助言を教師から一方的でなく、指導助言的なのができるいくと、より素晴らしい授業になっていくのかと強く感じました。オンラインのやり取りの中に社会科の問題提起の場面がありますが、タブレット端末で授業の内容を振り返ると言う良さはありますが、板書を併用して子供たちの持った意見がタブレット端末では消えてしまうようなので、それが画面に残っていれば、なおさら有効かと思

います。授業の組み立て、つまり子供たちが入力したのが、どんどん出てきますけれども、その状況しかコメントできなかつたりする。つまり、発言の羅列性でなく、発言の軽いもの、重要なものの取り上げ方をしていかなないと、授業としては成立していかないのかと思います。

それを、今後、学習の中でタブレット端末を使用していくうえで、検討していただければと思います。

議 長

ただいま、委員からタブレット端末を使用した長所や課題が出ました。その課題の中で、児童生徒との対応や授業の組み立て方について、発言の取り上げ方について、検討していかなければならないかと言うご意見をいただいたわけですが、この点につきまして、事務局から説明や回答がありましたら、お願いします。

事務局

事務局としては、各学校間の共有フォルダを活用して八日市場小学校の例を紹介したり、各学校の取り組みをお互いに見てもらったりして、授業を精選していくように考えています。

学校教育課長

板書とモニターと併用して授業を行った方が良いと思いました。学習の課題として、一貫して最後まで消えないものは見えるところにあつた方が良いと思いました。課題は今後もあると思いますので、改善していければいいと思います。

構成員 3

このタブレット端末を使用して授業を展開していくとなると、例えば長欠の児童が他の教室から授業を受けられるのかなと思います。長欠の子供が人間関係で悩んでいるとしても、学校には興味があつて勉強したいと言う子供が参加できると良いなと思いました。

また、子供たちがローマ字入力をすると言うことですので、ローマ字の学習をする時の一つの目標と言うか、これから先、ローマ字入力をしていかなければならない事を前提に目標にできるのかなと思います。

現在、40代の先生方はコンピューターに使い慣れていると思いますが、年配の先生方の中には慣れてない方もいると思いますので、今は色々な意味で過渡期ではないかと感じております。

中学校区を単位として、小学校でこれだけのことを学習して中学校に送り出すと言うことができれば、中学校の授業の手助けになるのではないかと感じました。

改めて、紙をめくって調べていくと言うのを大事にしていかなければならないのかなと感じました。言葉の意味を調べるにしても、子供たちは、普段、電子辞書を使用していると思いますが、調べた言葉の前後にどんな言葉があるのかを知ることにより、自分自身の勉強にもなるので、紙をめくっていくことも大事じゃないかと感じました。身体的に不自由な方が教師をするのも可能になってくるのかなと感じました。

議 長

今後のリモート授業に対するアドバイスや不安な点がいくつかありましたが、その他、ご意見はございますか。

構成員 1

本日は、リモート学習とタブレット端末を授業の中でどのように活用していくかを議題としまして、リモート学習であれば各家庭で長期休業中に教師が一方向的に授業をしているということで、教室全面を映し出して、掲示物はこういったものを使用しているか、板書をしながら、色々と様子を伺えるかと思いましたが、今回は画像データでのやり取りでありました。

活用の仕方については、まず職員が慣れることが第一であります。ただ、予め申し上げますが、すべての授業がパソコンを活用するものではありません。本日の授業の中でこういったものが有効なのか、紙媒体中心でグループ学習を行った方が良いとか、タブレット端末を使用するには、探求学習と言って調べる学習には、内容が素早く、調べられ、ボタン一つでわかりますので非常に有効と考えます。

しかしながら興味を持っている子と持っていない子の格差が、活用にも大きく影響すると思います。先ほど申しましたが、教師も児童生徒も扱いに慣れなければならない点の一つ、また、委員から話がありましたが、ベテラン教師と若手教師が両極化しているため、教育委員会の使命としては、職員の研修が必要であり、極めて有効な面を持っている反面、効率的に使用できるかが必要だと考えます。

議 長

その他、ご意見ありませんか。

～ (構成員から「なし」の発言) ～

議 長

委員の皆様から貴重なご意見をいただきましたが、充実したリモート学習がこれから実行されますように、ご意見を取り入れていただくよう、私からも申し添えさせていただきます。ご意見が無いようですので、質疑は、ここで終了とさせていただきます。

その他について、事務局から何かありますか。

事務局

ありません。

議 長

以上で、すべての協議が終了したということで、議長の任を解かせていただきます。

構成員の皆様からは、多くの示唆に富むご意見、ご感想をいただきまして、ありがとうございました。

匝瑳市といたしましては、皆様からいただきましたご意見を参考に、今後も匝瑳市の教育の更なる発展に向け努力をしてまいりたいと考えております。

それでは、進行を事務局へお返しいたします。

進 行

太田市長、議長の任、ありがとうございました。

また、委員の皆様には、熱心なご協議をいただき、ありがとうございました。

以上を持ちまして、「令和3年度 第1回匝瑳市総合教育会議」を閉会いたします。